

鉄の
チカラで

2025年度 第3四半期 決算補足資料



株式会社中山製鋼所 (証券コード:5408)

2026年 2月 5日

未来
つくる

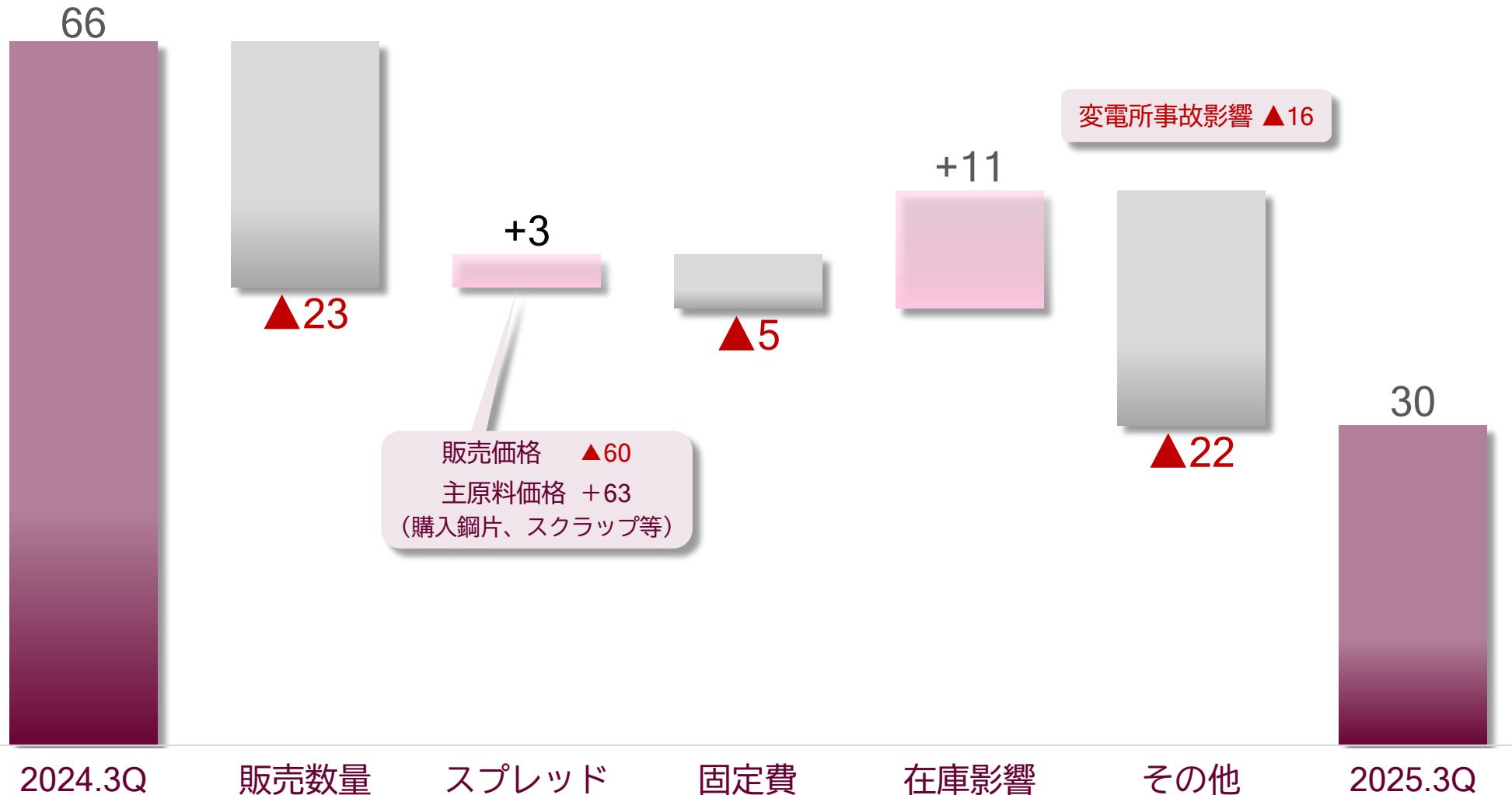
四半期実績

(億円)	2024年度 3Q累計(A)	2025年度 3Q累計(B)				増減 (B)-(A)
			1Q	2Q	3Q	
売上高	1,297	1,097	389	377	331	▲200
営業利益	67	32	18	12	2	▲35
経常利益	66	30	18	12	0	▲36
(ROS)	5.1%	2.7%	4.6%	3.1%	0.1%	▲2.4%P
純利益	45	17	11	6	0	▲29

需要低迷による販売数量の減少、変電所事故影響により減収減益

- 販売数量は建築関連を中心に需要低迷が続き減少したが、変電所事故による電気炉休止中は、出荷調整を行いつつ、代替鉄源の購入により取引先への製品供給を維持。
- 販売価格は、需要環境が厳しい中で安価な輸入鋼材の流入も続き下落。
- 電気炉休止中の減産、代替鉄源振替、変電所設備修繕費用の合計16億円の減益影響により、3Qの利益は小幅にとどまる。販売価格を上回る鉄源価格の下落によりスプレッドは良化。

経常利益増減分析 2024.3Q累計 → 2025.3Q累計



連結貸借対照表

(億円)	2025 3月末	2025 12月末	増減	(億円)	2025 3月末	2025 12月末	増減
現預金	153	238	+84	仕入債務	169	188	+20
売掛債権	423	380	▲43	有利子負債	91	87	▲4
棚卸資産	340	283	▲56	繰延税金負債	42	44	+2
その他	9	11	+2	諸引当金	47	39	▲8
流動資産	925	912	▲13	その他	75	69	▲6
有形固定資産	483	500	+17	負債	423	427	+3
無形固定資産	5	4	▲1	株主資本	1,031	1,031	+1
投資その他	79	84	+5	その他	37	42	+4
固定資産	566	588	+21	純資産	1,068	1,073	+5
資産合計	1,491	1,500	+8	負債純資産合計	1,491	1,500	+8

【科目別の増減要因】

- ・現預金
売掛債権と棚卸資産の減少、仕入債務の増加に伴う運転資金の減少
新電気炉設備投資に備えて手元資金を極力確保
- ・売掛債権
減収に伴い減少
- ・棚卸資産
電気炉休止による自社鋼片の生産停止、加えて購入鋼片も在庫整理により減少
- ・仕入債務
減収ながら電気炉休止に伴い、購入鋼片の仕入が増加

2025年度業績見通し

(億円)	2024年度 実績 ①		2025年度業績見通し				増減		
	上期	下期	前回 公表値 ②	今回 公表値 ③	上期 実績	下期	前年度比 ③-①	前回比 ③-②	
売上高	1,693	895	798	1,510	1,480	766	714	▲213	▲30
営業利益	84	48	37	42	42	30	12	▲42	±0
経常利益	81	47	34	40	40	29	11	▲41	±0
ROS	4.8%	5.2%	4.3%	2.6%	2.7%	3.8%	1.5%	▲2.1%P	+0.1%P
当期利益	57	32	25	23	23	17	6	▲34	±0
配当/株	40円	18円	22円	13円	13円	8円	5円	▲27円	±0

- ・需要低迷による販売数量減少から、前回（2025年11月6日）公表値比▲30億円の減収を予想。
- ・年間配当については、前回公表通りの13円/株を予定。引き続き新電気炉完成までは、連結配当性向30%以上を目安とする。

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性や完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成の時点で入手した情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。つきましては、本資料のみに依拠した投資判断はお控えくださいますようお願い申し上げます。本資料の利用によって生じたいかなる損害につきましても、当社は責任を負いません。